

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年04月01日

計画の名称	宇部市中心市街地における賑わいの創出と居住環境の向上（第 期）（重点）												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	宇部市												
計画の目標	老朽建築物の除却や公共施設整備を行い、防災面の改善と建物再築の手法の検討により再築を促し、定住人口の回復と商業の活性化を図ることを目的としている。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	180	A	180	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	老朽建築物の過密状態を緩和するために事業区域内における老朽建築物の除却率を52%から71%へ拡大する。 事業実施状況をもとに算出する。 (老朽建築物の除却率) = (除却された老朽建築物棟数) / (区域内における事業着手時の建物棟数) (%)	52%	%	71%
2	重点整備地区内の人口密度を20人から22人へ増加を図る。 重点整備地区の定住人口	20人	人	22人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	宇部市	直接	宇部市	-	-	中央町地区住宅市街地総合整備事業	密集市街地の整備・1ha 建物除却11棟	宇部市						180	-		
												小計						180		
												合計						180		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
【中央町地区住宅市街地総合整備事業】 事後評価委員会にて事後評価を実施	令和8年2月
	公表の方法
	市公式ウェブサイトに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区域内の老朽建築物の除去及びアーケードの撤去工事が実施され過密な状態が緩和された。 道路拡幅工事などにより住環境・回遊性が向上したが、民間による建替え・新築が進まず、定住人口は増加していない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も(株)にぎわい宇部と連携し、空きスペースを活用したイベントの開催などを継続し、 民間事業者による未利用地や空き物件の活用を促していく。 また、将来的には、現在整備を進めている市役所周辺地区との相乗効果を図り、 市街地再開発事業などの手法も取り入れた地区再生に繋げていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	71%	老朽建築物の除却が進む一方、民間による建替えが進まない状況を踏まえ、次期計画を休止することとし、令和4年度から令和6年度の事業費を縮小したため。
	最終実績値	59%	
2	最終目標値	22人	老朽建築物除却後の土地で、民間による建替え・新築が進まず、駐車場利用に留まっているため。
	最終実績値	16人	